

環境経営レポート

(対象期間：2022年11月1日～2023年10月31日)

当社は2020年11月1日に環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは当社の事業年度に合わせ、11月1日から10月31日までをひとつの区切りとしています。

この「環境経営レポート」は、環境マネジメントシステムを立ち上げてから3年目となる2022年11月1日からの1年間を対象にまとめました。

『有機農業と、未来へ』

株式会社デリカは有機農業を応援する作業機を中心に開発し、市場に提供することを通じて、食・農産業の発展、有機農業の応援、品質向上、環境配慮、また農業の効率化、省力化を推進しSDGsに貢献します。



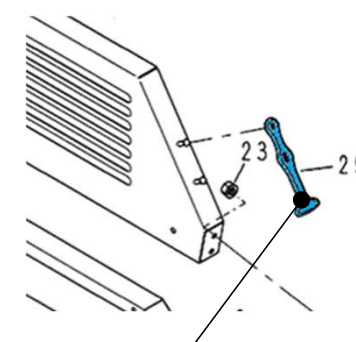
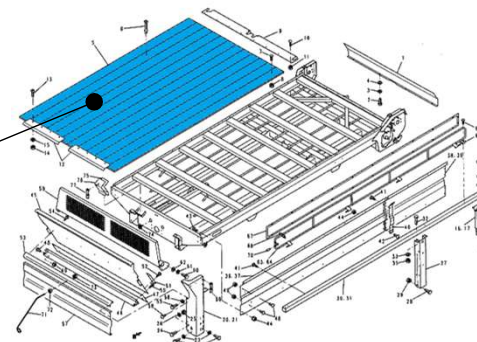
マニアスプレッダなど有機農業支援機器の提供により、生産性の向上，化学肥料の使用機会の削減による生態系へのリスク軽減，有機肥料の使用機会を増加することで土壌の質の改善に寄与します。



(自走マニアスプレッダDAM-354)

製品の一部材質に再生素材を取り入れ、資源利用効率の向上，廃棄物の削減に貢献します。

PP再生材

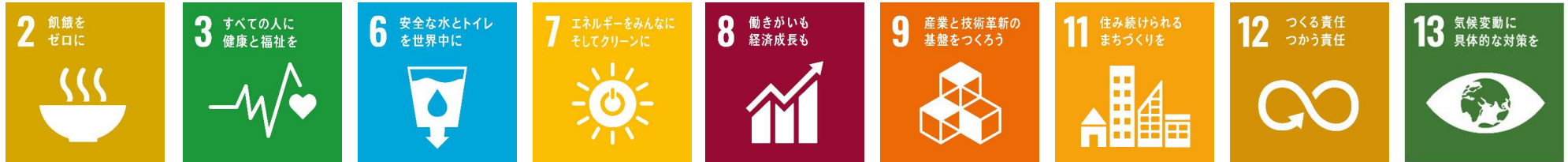


再生ゴム

(マニアスプレッダDXシリーズなど)

『有機農業と、未来へ』

株式会社デリカは国の進める「みどりの食糧システム戦略」に沿った活動を推進しSDGsに貢献します
 (参照 [みどりの食糧システム戦略トップページ：農林水産省 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp))



・農地の炭素貯留-バイオ炭の農地施用の支援機器の研究開発
 バイオ炭と呼ばれる有機物を原料とした固形炭化物を農地施用することで、炭素貯留効果が得られ温室効果ガスの削減交換があるとされています。また、同時に土壌の透水性・保水性・通気性改善など土壌改良効果があるとされています。デリカではバイオ炭を効果的に散布する散布機の研究開発を推進しています。

・混合堆肥複合肥料の散布機の研究開発
 混合堆肥複合肥料は地域慣行の化学肥料の代替とともに土づくりにも補完的な役割を果たすとされています。デリカでは混合堆肥複合肥料をより効率的に散布できる散布機の研究開発を行っています。

・バイオ液肥散布機DAV-2500
 家畜排せつ物、食品廃棄物等を発酵処理する際の副産物である消化液をバイオ液肥として有効利用するための散布機を開発、販売しています



(自走液肥散布機DAV-2500)

『有機農業と、未来へ』

デリカ製品84機種が「みどり投資促進税制」対象機種に認定されています

有機農業と、未来へ。 DELICA

DELICA × みどり投資促進税制

デリカ製品が「みどり投資促進税制」の対象機種に認定されました

対象機種の導入で
導入当初の**税負担を軽減**できます。^{注1}

デリカ製品ではマニアスプレッダやバキュームカーなどが制度の対象です。
対象となる型式は以下の一覧でご確認ください。

みどり投資促進税制 デリカ対象機種一覧
<https://www.delica-kk.co.jp/ext/Midori-Zeisei.pdf>

注1) 条件によっては軽減にならない場合があります

「みどり投資促進税制」とは？

化学肥料、化学農業の低減につながり、環境負荷低減に貢献する機械等を導入した場合、導入当初の税負担を軽減できます^{(※)(注1)}。

※ 《法人税・所得税の特別償却》
税負担の軽減には、事前に都道府県の認定が必要です。



$$\text{法人税} = (\text{益金} - \text{損金}[\text{償却額}]) \times \text{税率}$$

特別償却により、**損金[償却額]**が上乗せされると結果的に法人税負担が軽減されます^(注1)。

■ 約700万円の機械を取得した際の特別償却



株式会社デリカは国の進める「みどりの食糧システム戦略」に沿った活動を推進しSDGsに貢献します
(参照みどりの食糧システム戦略トップページ：[農林水産省 \(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp))

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

○事業所名 : 株式会社デリカ

○所在地 : 390-1242長野県松本市和田5511-11

○事業活動の内容

- ・農業用作業機械（インプル）の製造，販売
- ・トラクタ部品の製造
- ・大型洗車機部品の製造

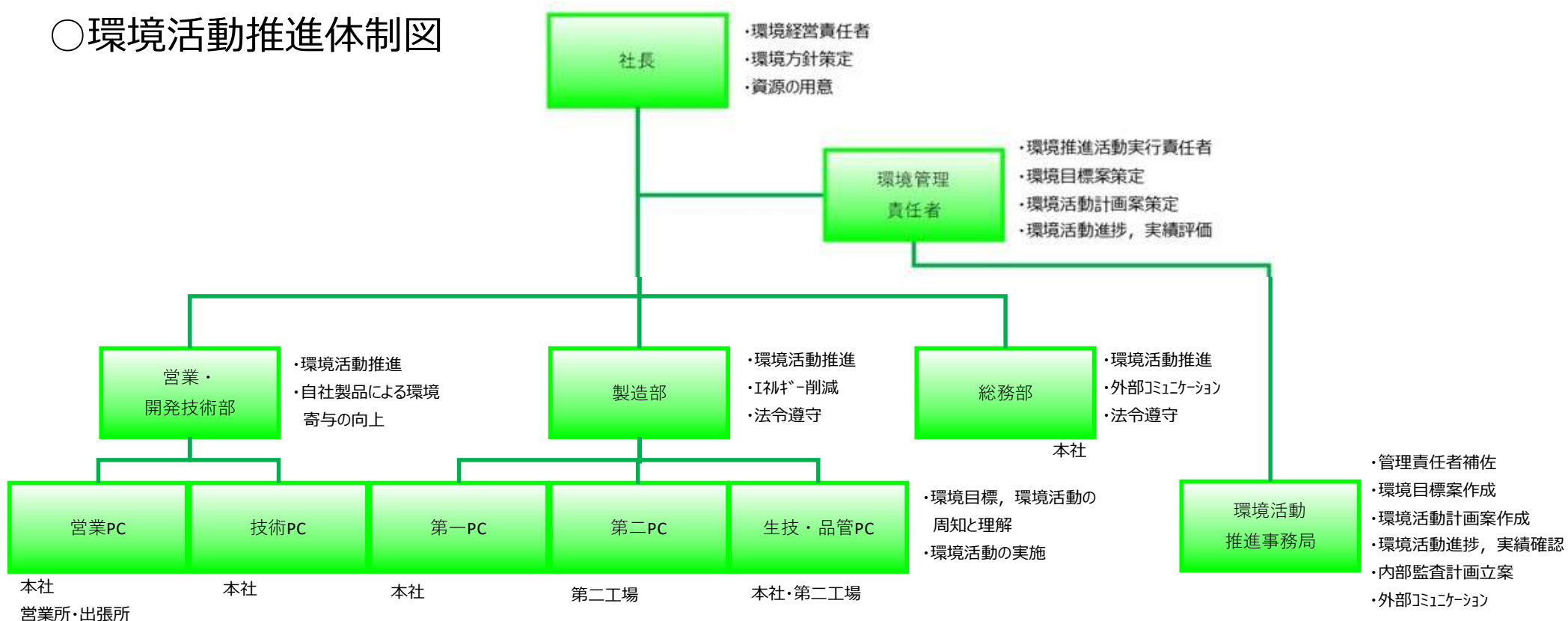
○事業規模

- ・資本金 : 95,000千円
- ・従業員数 : 153人
- ・生産拠点 : 本社工場(松本市), 第二工場(松本市)
- ・営業所 : 岡山営業所(津山市), 栃木営業所(栃木市), 熊本営業所(熊本市), 秋田出張所(秋田市), 宮城出張所(大崎市)

○対象範囲（認証・登録範囲）

全組織における活動を対象としています

○環境活動推進体制図

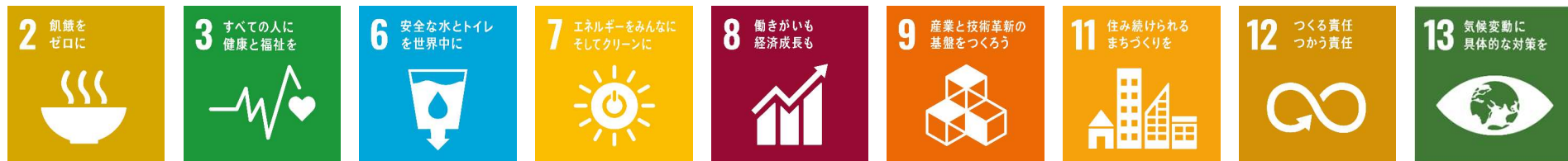


担当	所属	氏名	連絡先
環境管理責任者	取締役製造部長	山口 義雄	0263-48-1181
環境活動推進事務局担当	製造部 品管・生技G課長	小松 享彦	0263-48-1181

2. 環境経営方針

地球環境の保全・汚染の予防が世界共通の最重要課題であることを深く認識し、有機農業を応援・推進する活動を通じて、可能な限り地球環境の維持・向上に全員参加で努めてまいります。具体的には次のことを実施します。

1. 製品の開発・設計・製造・販売において、省資源・省エネルギーを推進し、廃棄物の削減に努めます。
2. 人類の安全・安心と地球環境のために、循環型有機農業を応援する作業機の提供を行うとともに、農業従事者の省力化を通して環境経営を実践します。
3. 環境に関わる法規制、その他の要求事項を遵守します。
4. 継続的に改善し、環境の保全・汚染の予防に努めます。
5. SDGsの達成に向け、事業を通じて世界共通の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。



6. 本方針はエコアクション21により実施し、全従業員に周知徹底します。

2020年11月1日
株式会社デリカ
代表取締役社長 金子孝彦

3. 環境経営目標及び環境活動計画とその達成状況

○環境経営目標

当社事業年度の69期を基準年として次の環境経営目標を設定しました。

環境指標(単位)	基準年実績	目標値 ※()内比率は基準年比較		
	(69期)	70期	71期	72期
CO2排出量(t-CO2)	1,301.5	1,288.5(-1%)	1,275.5(-2%)	1,262.5(-3%)
電力(MWh)	1,559	1,543(-1%)	1,528(-2%)	1,512(-3%)
LPG使用量(m3)	66,316	65,653(-1%)	64,990(-2%)	64,327(-3%)
軽油使用量(L)	43,475	43,040(-1%)	42,606(-2%)	42,170(-3%)
ガソリン使用量(L)	27,758	27,480(-1%)	27,203(-2%)	26,925(-3%)
灯油使用量(L)	3,477	3,442(-1%)	3,407(-2%)	3,373(-3%)
産業廃棄物(kg)	96,994	96,024(-1%)	95,054(-2%)	94,084(-3%)
一般廃棄物(kg)	11,224	11,112(-1%)	11,000(-2%)	10,887(-3%)
水使用量(m3)	4,929	4,880(-1%)	4,830(-2%)	4,781(-3%)
循環型有機農業 支援機器拡販 (販売計画達成率%)	100%	100%	100%	100%
PRTR化学物質使用 量定期監視(1回/年)	定期監視1回	定期監視1回	定期監視1回	定期監視1回
法令遵守率(%)	100%	100%	100%	100%
EMSの構築・維持	EA21認証	認証維持	認証維持	認証維持

○環境活動計画と取組の結果

環境活動について期の主要方針を定め、部門毎に取り組みました

○:できた, △:一部課題あり, ×:できなかった

主要方針	担当部門	取組内容	評価	
・環境関連法規制、その他の要求事項 100%遵守のための計画立案と実施	開発技術	オフロード法適合性の確認、法令最新版調査	○	
	1PC	環境関連法令のチェックシート作成、運用	○	
	2PC	環境関連法令および要求事項の遵守状況定期チェック	○	
	品管・生技	設備の法定点検の実施計画立案と実施	○	
	総務	担当する環境関連法規制遵守状況の定期確認	○	
・廃棄物の削減、エネルギーの削減、 資源の節約に努める	2PC	コピー用紙の使用枚数削減-3.5%	○	
	1PC	溶接工程内不良手直し時間削減	×	年間手直し時間6,944分/目標4,408分以下
	1PC	自走マニアスプレッタ組立効率改善	×	自走の組立要領整備率50%/目標100%
	1PC	塗装不良手直し時間削減	×	年間手直し時間8,160分/目標6,280分以下
	総務	ゴミの分別・リサイクル、節電・節水、コピー用紙削減	○	
・「みどりの食糧システム戦略」に沿った 活動の推進でSDGsに貢献する	営業	みどり投資促進税制の対象品リストに登録申請	○	
	開発技術	混合堆肥等に対応する散布機の研究開発	△	情報収集に努めたが話題乏しい
・製品モデルチェンジと新製品開発で省 エネ化、農作業省力化、有機農業支援 に貢献する	開発技術	自走マニアスプレッタのシリーズモデルチェンジ	○	
	開発技術	有機農業、混合堆肥複合肥料の専門知識の習得	△	情報収集に努めたが話題乏しい
・新規市場開拓と戦略的営業展開で農 作業の省力化・有機農業の支援に貢献 ・顧客満足度を高める環境活動の推進	営業	実演・同行営業の推進、展示会・製品研修の実施	○	
	営業	製品改良要望書、製品企画検討書の提案促進	○	
	2PC	顧客要求に対応した環境活動の展開	○	
・IoTを活用して生産性を高める活動に より省エネ・省人力化を推進する	2PC	機械設備の稼働率改善	×	稼働率:ホーコス7%/目標17%以上 ツガミ20%/目標17%以上
・更なるIT化で業務改善を実施すること で省エネ・省人力化を推進する	総務	給与システム更新による運用業務効率化	○	
・顧客満足度を高めながら生産量を増加 させる取組で省資源、省エネ、廃棄物削 減を推進する	品管・生技	インプル出荷検査の品質情報見える化とフィードバック推進	○	
	品管・生技	3P検査の品質情報見える化とフィードバック推進	○	
・新規事業の量産化に向けた活動を展 開し循環型有機農業の拡大や農業従事 者の省力化に貢献する	1PC	タイデリカ新規事業製品の量産安定化支援	○	
	品管・生技	タイデリカ新規事業製品の量産性向上、品質安定化支援	○	
・事務所棟の照明をLED化することで、省 エネを推進する	総務	本社事務所棟の照明LED化	○	

○環境経営目標の達成状況

環境指標(単位)	基準年実績 (69期)	71期実績 ※()内比率は基準年比較		
		目標	結果	判定
CO2排出量(t-CO2)	1,301.5	1,275.5(-2%)	1,344.6(+3.3%)	×
電力(MWh)	1,559	1,528(-2%)	1,554(-0.3%)	×
LPG使用量(m3)	66,316	69,990(-2%)	74,091(+11.7%)	×
軽油使用量(L)	43,475	42,605(-2%)	41,596(-4.3%)	○
ガソリン使用量(L)	27,758	27,203(-2%)	28,205(+1.6%)	×
灯油使用量(L)	3,477	3,408(-2%)	3,928(+13.0%)	×
産業廃棄物(kg)	97,515	95,565(-2%)	87,704 (-10.1%)	○
一般廃棄物(kg)	11,224	11,000(-2%)	8,570(-23.6%)	○
水使用量(m3)	4,929	4,830(-2%)	4,726(-4.1%)	○
循環型有機農業 支援機器拡販 (販売計画達成率%)	100%	100%	105.3%	○
PRTR化学物質使用 量定期監視(1回/年)	定期監視1回	定期監視1回	年間使用量1t 超えた物質なし	○
法令遵守率(%)	100%	100%	100%	○
EMSの構築・維持	EA21認証	認証維持	認証維持	○

 電力のCO₂排出係数

- ・本社工場・第二工場 : 0.452kg-CO₂/kWh(中部電力株)・調整後・2018年度)
- ・岡山営業所 : 0.585kg-CO₂/kWh(中国電力株)・調整後・2019年度)
- ・熊本営業所 : 0.371kg-CO₂/kWh(九州電力株)・調整後・2019年度)

○環境経営目標達成状況の評価

- (1)CO₂排出量は基準年比+3.3%で、目標-2%未達となった。電力は基準年比-0.3%で削減傾向にあるがLPGが基準年比+11.7%で大きな要因になっている。
主な使用先は本社塗装ラインの焼き付け乾燥炉・ボイラー、また本社GHPエアコンである。
70期より、冬季の乾燥炉の暖気運転を開始したことが増加要因と推定。72期は対策を第1PCで検討、実施し改善予定。
- (2)廃棄物は産業廃棄物-10.1%、一般廃棄物-23.6%と大きく削減し目標達成。
分別の周知徹底と、各部門での梱包材見直し等が進められた効果と推定。
- (3)水の使用量は基準年-4.1%で目標達成。製造設備の冷却や切削液、また塗装の排水処理装置の更新等で効率化が進んだと推定。
- (4)循環型有機農業支援機器(自社インプル製品)拡販は、販売計画達成率105.3%となり目標達成。
- (5)化学物質の使用状況、また法令遵守率については、エコアクション21の活動を通じて現状の見える化をすることで、確実に遵守、維持されていることが確認できた。

4. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無 (1/2)

当社の事業活動に関連する主な環境関連法規等は下記のとおりです。

2023年2月2日、遵守状況の確認を行い、下記の通り違反はありません。

過去3年間に関係当局からの違反等の指摘および利害関係者からの訴訟はありません。

○:OK, ×:問題あり, /:該当なし, -():未確認(確認予定日)

関連法	対象工程・施設	要求事項	要求事項	担当部門	結果
水濁法/ 下水道法	酸・アルカリ 洗浄槽	特定施設届出	特定施設の届出内容に変更がないか	塗装排水責任者	○
		定期検査	市の立ち入り検査(水質検査)結果に問題なかったか	塗装排水責任者	○
		事故報告	市への報告が必要な事故(漏出など)がなかったか	塗装排水責任者	○
		事故防止	設備の定期点検が実施されているか	1PC	○
		事故防止	事故発生(漏出)を想定した緊急事態訓練が計画され実施されているか	1PC	○
化管法	特定化学物質 を含む購入品	第1種化学物質 1t/年使用時届出	年間の化学物質使用量(購入量)が1tを超えてないか 新規に導入した化学物質は使用量を把握しているか	事務局 事務局	○ ○
		紛失・盗難防止	保管庫はカギをかけているか 在庫数量の定期確認と記録をしているか	1PC 1PC	○ ○
毒劇法	塩化水素, 硫酸, パルボンド	飛散, 流出防止, 地下浸透防止	密閉容器で確実に保管されているか。 容器に劣化、破損はないか	1PC	○
		「医薬用外」「毒物」 「劇物」表示	保管場所に「医薬用外」「毒物」「劇物」の表示がされているか	1PC	○
		少量危険物 貯蔵所届出	危険物貯槽所の届出内容に変更がないか	防火管理者	○
消防法	灯油・軽油	転倒, 漏洩, 飛散防止	転倒, 漏洩, 飛散防止がされているか	防火管理者	○
		少量危険物 貯蔵所	規制量40Lを超えて保管していないか(本社) 規制量40Lを超えて保管していないか(営業倉庫)	1PC 営業	○ ○
	ガソリン	少量危険物 貯蔵所	規制量500Lを超えて保管していないか(本社) 規制量500Lを超えて保管していないか(第二)	1PC 2PC	○ ○
		三石 (切削油等)	少量危険物 貯蔵所	規制量1200Lを超えて保管していないか(本社) 規制量1200Lを超えて保管していないか(第二)	1PC 2PC
	四石 (切削油等)	少量危険物 貯蔵所	規制量1200Lを超えて保管していないか(本社) 規制量1200Lを超えて保管していないか(第二)	1PC 2PC	○ ○

4. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無 (2/2)

○:OK, ×:問題あり, /:該当なし, -():未確認(確認予定日)

関連法	対象工程・施設	要求事項	要求事項	担当部門	結果
廃棄物 処理法	産業廃棄物	マニフェストの回収	マニフェストが期限内に回収されているか	生技	○
		マニフェスト管理表届出	マニフェスト交付状況を県に提出しているか	生技	○
		流出, 漏洩防止	廃棄物保管場所で油の漏洩、流出がないか(本社)	1PC	○
			保管場所の法定看板が表示されてるか(本社)	1PC	○
			廃棄物保管場所で油の漏洩、流出がないか(第二)	2PC	○
			保管場所の法定看板が表示されてるか(第二)	2PC	○
最終処分確認	廃棄物収集・運搬・処分業者の実地見学(努力義務)	公害防止責任者	5月実施 予定		
収集・運搬・ 処分業者	自治体の認定業者に依頼しているか	公害防止責任者	○		
家電 リサイクル法	テレビ・エアコン・ 冷蔵庫	リサイクル料金 (廃棄時)	テレビ, エアコン(家庭用), 冷蔵庫の廃棄がなかつたか。あればリサイクル料金は支払ったか	各部門	/
フロン排出 抑制法 ※	事務所エアコン	法定点検	簡易点検(自主点検)4回/年以上 定期点検(有資格者点検)1回/年以上	総務	○
	第二工場 工場エアコン	法定点検	簡易点検(自主点検)4回/年以上	総務	○
			定期点検(有資格者点検)1回/3年以上	総務	○
	FOLーサチラー	法定点検	簡易点検(法定点検)4回/年以上	1PC	○
			有資格者点検(法定点検)1回/年以上	1PC・生技	○
	Regレーサチラー	簡易点検(自主点検)	簡易点検(法定点検)4回/年以上	1PC	○
	エアコンプレッサー (エアドライヤー)	法定点検	簡易点検(法定点検)4回/年以上(本社)	1PC	○
			簡易点検(法定点検)4回/年以上(第二)	2PC	○
オイルクーラー, チラー, 冷水器	法定点検	簡易点検(法定点検)4回/年以上(本社)	1PC	○	
		簡易点検(法定点検)4回/年以上(第二)	2PC	○	
オフロード法	型式届け出機種	型式届け	届出内容に変更がないか	開発技術	○
			法令対象範囲, 基準等に変更がないか	開発技術	○
	DAM-253/354	検査記録	法令要求の全数検査記録保管(5年以上)	品管	○

5. 代表者による全体の評価と見直し、指示（マネジメントレビュー）

<全体の評価>

国が進める食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」に沿った活動を推進して参りました。結果としてデリカ製品 84 機種が「みどり投資促進税制」対象機種に認定されたことで取組の有効性ありと評価します。

CO2削減については、第二工場稼働後を基準年に目標値を再設定して活動を展開してきましたが、業績拡大及び、大型設備投資などの要因により未達となりました。内容をしっかり検証して今後の推進に繋げてください。

しかしながら、産業廃棄物（基準年比-10.1%）、一般廃棄物（基準年比-23.6%）といったゴミについては大幅な削減が図られており、全社的に環境意識が浸透していると評価いたします。

次に、循環型有機農業を支援することで地球環境と、食の安全・安心を推進する取組については、計画を達成しましたので有効性ありと評価します。今後もスローガンである「有機農業と、未来へ。」を念頭に有機農業取組面積を増加させるべく活動を継続してください。

そして、法令遵守率は100%を維持してはいますが、これに慢心せず教育の質を高めて知識とスキルを向上させながら環境活動に努めてください。

<見直し・指示>

- ◇環境方針 : 変更の必要なし
- ◇環境目標及び活動計画 : 変更の必要なし
- ◇実施体制 : 変更の必要なし

2024年2月21日
代表取締役社長
金子孝彦

6. 次年度の取り組み

目標達成に向け、部門毎に環境活動計画を策定し推進します。

主要方針	担当部門	取組内容
環境関連法規制、その他の要求事項100%遵守のための計画立案と実施	総務	環境関連法規制遵守状況の定期確認
	開発技術	オフロード法適合性の確認(法令最新版の確認)
	第1PC	チェックシートにより環境関連法令の明確化と確実な運用
	第2PC	第二工場の環境関連法令および要求事項の遵守
	生産技術	設備の法定点検の実施計画明確化と実施
廃棄物の削減、エネルギーの削減、資源の節約に努める	総務	廃棄物削減, エネルギー削減, 資源節約に繋がる活動実施
	総務	エネルギー, 資源使用状況の定期確認とデータ作成
	第2PC	プラスチック板パレット, ホリコンテナの廃棄の削減
	品管	環境負荷データの集計と品質管理委員会周知
「みどりの食糧システム戦略」に沿った活動の推進でSDGsに貢献する	営業	国の事業に沿った戦略的活動の推進
	開発技術	有機農業、混合堆肥複合肥料の専門知識の習得
製品モデルチェンジと新製品開発で省エネ化, 農作業省力化, 有機農業支援に貢献する	営業	顧客満足と省力化のための製品品質向上(改良要望, 新製品提案)の推進
	営業	インプル売り上げ計画達成
新規市場開拓と戦略的営業展開で農作業の省力化・有機農業の支援に貢献		
顧客満足度を高める環境活動の推進	第2PC	顧客要求に対応した環境活動の展開
IoTを活用して生産性を高める活動により省エネ・省人力化を推進する	第2PC	機械設備の稼働率改善
	生産技術	1PC・2PCの生産効率改善と不良削減を支援のためのIoTツール導入の検討
更なるIT化で業務改善を実施することで省エネ・省人力化を推進する	総務	給与計算システム更新による運用効率化
	総務	電子帳簿保存法への対応
顧客満足度を高めながら生産量を増加させる取組で省資源、省エネ、廃棄物削減を推進する	第1PC	(1班)レーザー加工機有効活用にて工程集約
		(1班)KDプレス製品の生産簡易化
		(2班)ハイドロメアの工程内不良削減
		(3班)自走マニアの組立のムダ取り
		(4班)工程内不良削減
品管・生技	1PC・2PCの生産効率改善と不良削減を支援	
・タイデリカのQC改善と生産プロセス構築の助言, 指導を展開し循環型有機農業の拡大や農業従事者の省力化に貢献	第1PC	タイデリカ製品品質改善
	品管	タイデリカ品質保証体制確立

7. 環境活動への取り組み事例の紹介

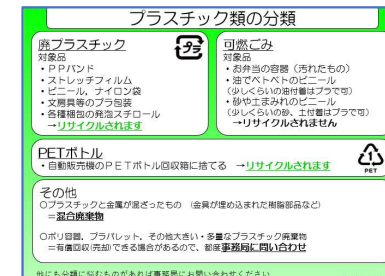
(1) 環境への取り組みを全社員に周知、啓発するためにステッカーを作成し、社内のごみ箱や照明スイッチ、社用車等に掲示しています。

(2) 環境に関する特定業務の教育資料を作成し、対象従事者に回覧して教育を行っています。教育資料は特に「シンプルなこと」「判りやすいこと」に重点を置き、対象従事者の教育受講の負担を最大限に減らしました。

(3) 本社工場事務所棟の照明を全面LED化しました。蛍光灯にくらべ省エネになると同時に、室内もより明るくなり作業環境の改善になりました。

(4) 当社ホームページをリニューアルし「ユーザーサポート」情報の内容充実を図りました。当社製品の型式別の部品表や取扱説明書を、ユーザー様が直接ダウンロードしていただけるようになり、紙の節約やユーザー様の利便性向上を図っています。

[啓発ステッカー]



[特定業務教育]



[事務所棟LED照明]



[ユーザーサポートページ]

